学校番号	319

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史改訂版」　（山川出版社）						
副教材等	「図説新日本史通覧」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古代から現代までの通史を学ぶ（2年生では室町時代まで）ことで､伝統や文化に対する認識を深め､国際社会の中の日本についての理解を深める。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	原始・古代から現代に至る歴史の展開を、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、国内外の地理的条件やアジアを含む世界史的視野に立ち､政治､経済､社会､文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握させる。	各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深めることを重視している。	諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な見方や考え方を身に付け、歴史的な思考力の育成を図る。	国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う
評価方法	・平常の授業に取り組む姿勢 ・教科書の他､副教材として資料集など忘れずに持ってきているか ・課題やレポートなどの提出物は期日や分量を守れたか	・定期考査の結果 ・発表の状況などを評価の対象とする ・自分の視点で考察できたか	課題やレポートなどの提出物 ・自分の視点で考察できたか ・丁寧に書くことができたか	「歴史の論述」レポートの提出や発表を行う。 ・自分の視点や考察した考えをまとめて表現できるよう念頭に置いて学習したか

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅰ部　原始・古代」	**第1章　日本文化のあけぼの** 1. 文化の始まり 旧石器文化・縄文文化の社会を理解する。 2. 農耕社会の成立 稲作伝播・青銅器分布から弥生文化の形成を考察する。 3. 古墳とヤマト政権 首長出現・統一国家への過程を、古墳の変容からとらえる。 **第2章　律令国家の形成** 1. 飛鳥の朝廷 権力闘争・大陸文化から飛鳥時代を考察する。 2. 律令国家への道 律令国家成立過程と白鳳文化の形成過程 3. 平城京の時代 奈良時代の律令体制の状況を多角的・多面的に考察 4. 天平文化 天平文化の政治性・国際性、国家仏教に着目 5. 平安王朝の形成 平安前期の律令体制の変質を考察する。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:発掘資料・文献史料・文化財史料などに興味を持ち、原始・古代社会を意欲的に考察、理解しようとする。 b:設定された主題について、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 設定された主題について、東アジアの情勢や大陸文化の伝播、古代信仰・仏教など思想、権力の推移など相互に関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査 ノート 整理問題集

2学期	第Ⅱ部 中世	**第3章　貴族政治と国風文化** 1. 摂関政治 藤原氏による摂関政治について考察させる。 2. 国風文化 新しい貴族文化として展開したことを理解する。 3. 地方政治の展開と武士 律令制崩壊・公領支配の変質、荘園の拡大を考察する。 **第4章　中世社会の成立** 1. 院政と平氏の台頭 院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 2. 鎌倉幕府の成立 鎌倉幕府が全国的武家政権に成長していく過程を理解する。 3. 武士の社会 将軍独裁体制から執権政治の確立の過程を考察する。 土地の支配権を地頭が掌握した過程を考察する。 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 蒙古襲来と幕府の衰退を理解する。 5. 鎌倉文化 庶民や武士の活動，鎌倉仏教が成立など新しい気運が生まれたことを理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:文献史料・文化財史料などに興味を持ち、貴族社会や中世社会を意欲的に考察、理解しようとする。 b:地方の変化と武士政権成立について、その成長過程について、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 貴族社会から武士政権成立とその成長過程について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:貴族社会から武士政権成立への過程と武士政権の成長過程について、東アジアの情勢や大陸文化の伝播、禅宗など新思想、権力の推移、経済の発展、庶民の台頭など相互に関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	小テスト 定期考査 ノート 整理問題集

3学期		**第5章　武家社会の成長** 1. 室町幕府の成立 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定の過程を考察 琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流の影響を理解 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 幕府の動揺や下剋上の風潮を考察 諸産業の発達・庶民の台頭・中世社会の多様な展開を理解 3. 室町文化 武家文化・公家文化・大陸文化・伝統文化の関連を理解 文化の地方伝播、地方普及と応仁の乱・戦国大名の関係を理解 4. 戦国大名の登場 応仁の乱以降、登場した戦国大名や都市について考察	○ ○ ○	○ ○	 ○	 ○ ○	a:文献史料・文化財史料などに興味を持ち、中世社会の発展を意欲的に考察、理解しようとする。 b:武士政権の発展過程について、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 武士政権発展過程について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 武士政権の成長過程について、東アジアの情勢や大陸文化の伝播、禅宗など新思想、権力の推移、経済の発展、庶民の台頭など相互に関連付けて理解し、その知識を身に付けている	小テスト 定期考査 ノート 整理問題集

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。